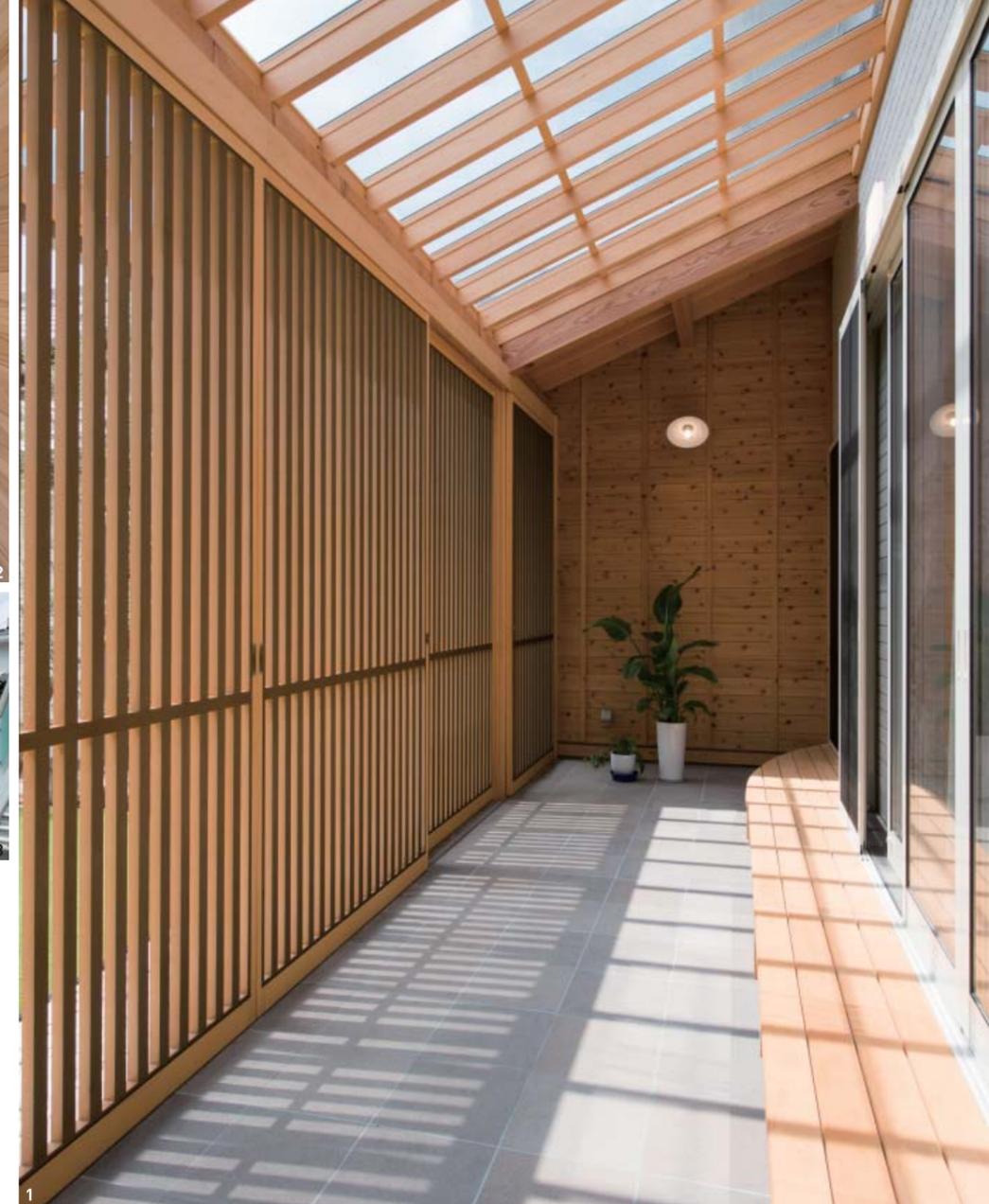




4 / 和の趣漂う玄間わきの茶室はHさんの希望で、以前の住まいの建具や木材を使用 5 / デザイン性の高いらせん階段とガラスブロックが素敵。「色の配置を悩みながら決めました。朝日が差し込むと床に映ってキレイなんです」とHさん 6 / 網戸の格子を開けると、庭との一体感が増し、さらに開放的な空間に 7 / 勾配天井の和室は明るく開放的。正面は玄間と茶室で、右の引き戸の先は、廊下を介して離れに繋がる



1 / 広いテラスは網戸格子の製作を同社に依頼し、夏でも虫を寄せ付けず、涼しくいられる。洗濯物を干したり、読書をしたり、お庭を眺めてくつろぐスペースとして大活躍。屋根はUVカットの亚克力ガラスで、光を通すので明るく、空が見えて開放的。また、この格子は、室内から外はすぐ見えるが、外からは室内の様子が分からず、プライバシーも守られる 2 / 造作のベンチを設けた玄間ホール。左は建て替え前の引き戸を再利用 3 / 格子が印象的な和モダンの外観。太陽光発電のソーラーパネルを搭載している（見開き写真すべてH邸）



Interview

「センスが良くて丁寧な職人さんにも感謝」

Hさんに家づくりの感想を伺ってみると、「要望を話すスタッフにデザインしてくれたり、設計担当が絵でイメージを共有することで非常にやりやすかったです。

カウンターなども絵に描いた通りに造ってくれたり、大工さんや左官屋さんの仕事ぶりも、プロだなあと感じました。センスが良く、こちらの意見をしっかりと聞いてくれるので、本当に頼りになりました」とHさん。この満足感が「この次も」と思わせるのだろう。



造作の作業台を設けタイルをあしらったキッチン。パントリーを設けてスッキリ

Column

以前の家の梁や天井を活かしたリフォームも

広和木材が、瓦屋根や天井、梁を活かしながら、リフォームを行った離れ。新しさと懐かしさ、安心感が得られる空間が実現している。離れから母屋へ繋がる通路も



瓦屋根の家は、リフォームをした離れ



歴史ある立派な梁が再利用で再び輝く



以前の住まいの天井を活かした廊下

掲載社名(弊社にて印刷時に自動出力されます)

らせん階段やガラスブロックが彩る歴史を受け継ぐ風通しの良い住まい

母屋の建て替えを検討していたHさんは、以前から注文住宅の建築やリフォームでお付き合いのある広和木材に依頼した。「広和さんの家づくりは細かい所まで一つひとつ決めることができ、「ここはサクラ材、こっちはイチヨウ」と木材を指定できたり、建築途中の変更にも対応してくれるので、今回も自然とお願いしました」とHさん。100年もの年月を経て住んできた母屋。その歴史や思い出を受け継ごうと、玄間わきの茶室には、建て替え前の引き戸や木材を再利用。お客さんたちよっとした会話やお茶を楽しむ場所として、再び輝くことだろう。また、らせん階段やガラスブロックを取り入れたり、テラスには造作の格子がアクセントになった、和モダンの住まいが実現。H邸の取材は、目に入る木の雰囲気や通り抜ける風が気持ちよく、穏やかで大変心地よいひとときだった。

丁寧な仕事や建築後の対応が満足感・安心感に繋がり3度目の依頼へ

[得意なテーマ]

- ▶ 通風・採光
- ▶ 収納・家事ラク
- ▶ デザイン
- ▶ 自然素材
- ▶ 耐震・免震・制震
- ▶ 高気密・高断熱
- ▶ 省エネ・創エネ
- ▶ 1000万円台
- ▶ 人柄・迅速な対応
- ▶ アフターサービス

